

三菱電機 パッケージエアコン  
別売部品 エリミネータ

形名

PAC-CM36EN(ビニロック)  
PAC-CM37EN(SUSウール)

## 部品取付説明書

もくじ	
安全のために必ず守ること	2
1. 部品	5
2. エリミネータ及び付属品取付要領	6
3. 各種加湿器取付要領	7
3-1) 水スプレー (別売形名 PAC-CL25WS)	7
3-2) 蒸気スプレー (別売形名 PAC-CL35SS)	7
3-3) 高圧スプレー (ウエットマスター製 WM-25 ~ 75SVN、SVK)	8
3-4) 超音波加湿器 (ユーキャン製 FT-P240/300)	9
4. エリミネータの清掃・交換	11

- 取付けの前には、安全を確保するため必ずこの「取付説明書」をよくお読みください。  
取付完了後はこの「取付説明書」を大切に保存してください。移設など重サービスを行うとき、お役に立ちます。  
安全のために必ず守っていただく項目を ⚠ 警告 ⚠ 注意の形で記載しました。

# 安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



## 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(発火注意)



(高温注意)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 警告

電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格のある者が行うこと。

### 一般事項

## 警告

改造はしないこと。

- ◆けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

水・液体で洗わないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

運転中および運転停止直後の本品・ベーパーパン本体・ヒーター本体・スプレー本体・冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- ◆低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

## 注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆回転機器に触れると、巻き込まれてけがのおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



接触禁止

水回路の温度が0℃以下になるところに加湿器を設置しないこと。

- ◆ 水回路凍結によりユニットが損傷するおそれあり。
- ◆ 水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



指示を実行

## 運搬・据付工事をするときに

### ⚠ 注意

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



運搬禁止

## 据付工事をするときに

### ⚠ 注意

販売店または専門業者が取付説明書に従って取り付け工事を行うこと。

- ◆ けが・感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

## 電気工事をするときに

### ⚠ 警告

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆ 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

電気工事は第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- ◆ 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器＜開閉器＋B種ヒューズ＞・配線用遮断器）を使用すること。

- ◆ 大きな容量のブレーカーを使用した場合、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

電源配線には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。

- ◆ 漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

## 移設・修理をするときに

### ⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

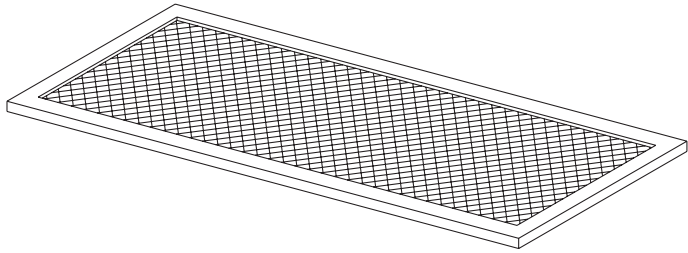
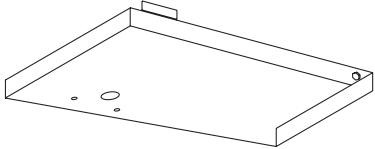
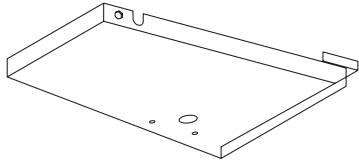
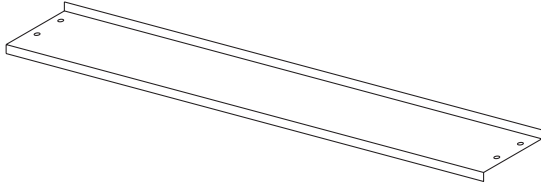
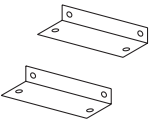
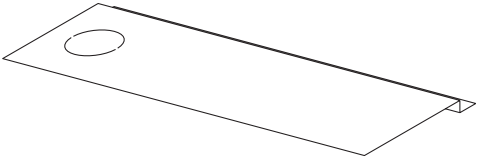
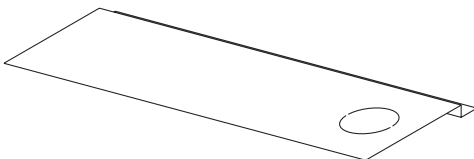
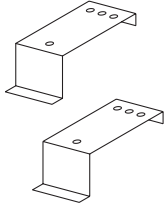
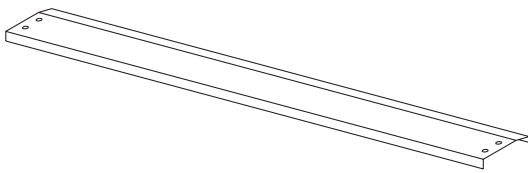
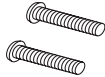
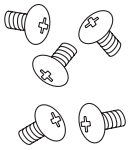
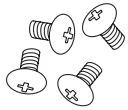





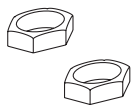
---

## お願い

運転を開始する 6 時間以上前に電源を入れてください。

◆ ユニット運転期間中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

# 1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品名	①エリミネータ		②シャヘイ板 (右)			
形状						
個数	1		1			
品名	③シャヘイ板 (左)	④シャヘイ板 (前)		⑤支金具		
形状						
個数	1	1		2		
品名	⑥フサギ板 (右)		⑦フサギ板 (左)		⑧取付板	
形状						
個数	1		1		2	
品名	⑨取付板		⑩取付ネジ(M6×35)	⑪取付ネジ(M4×10)	⑫取付ネジ(M5×10)	
形状						
個数	1		2	14	4	
品名	⑬チョウボルト	⑭取付ネジ(ネジ5×12)	⑮ゴムブッシュ (大)	⑯ゴムブッシュ (小)	⑰座金	⑱スペーサ M16ナット
形状						
個数	2	4	1	1	2	2

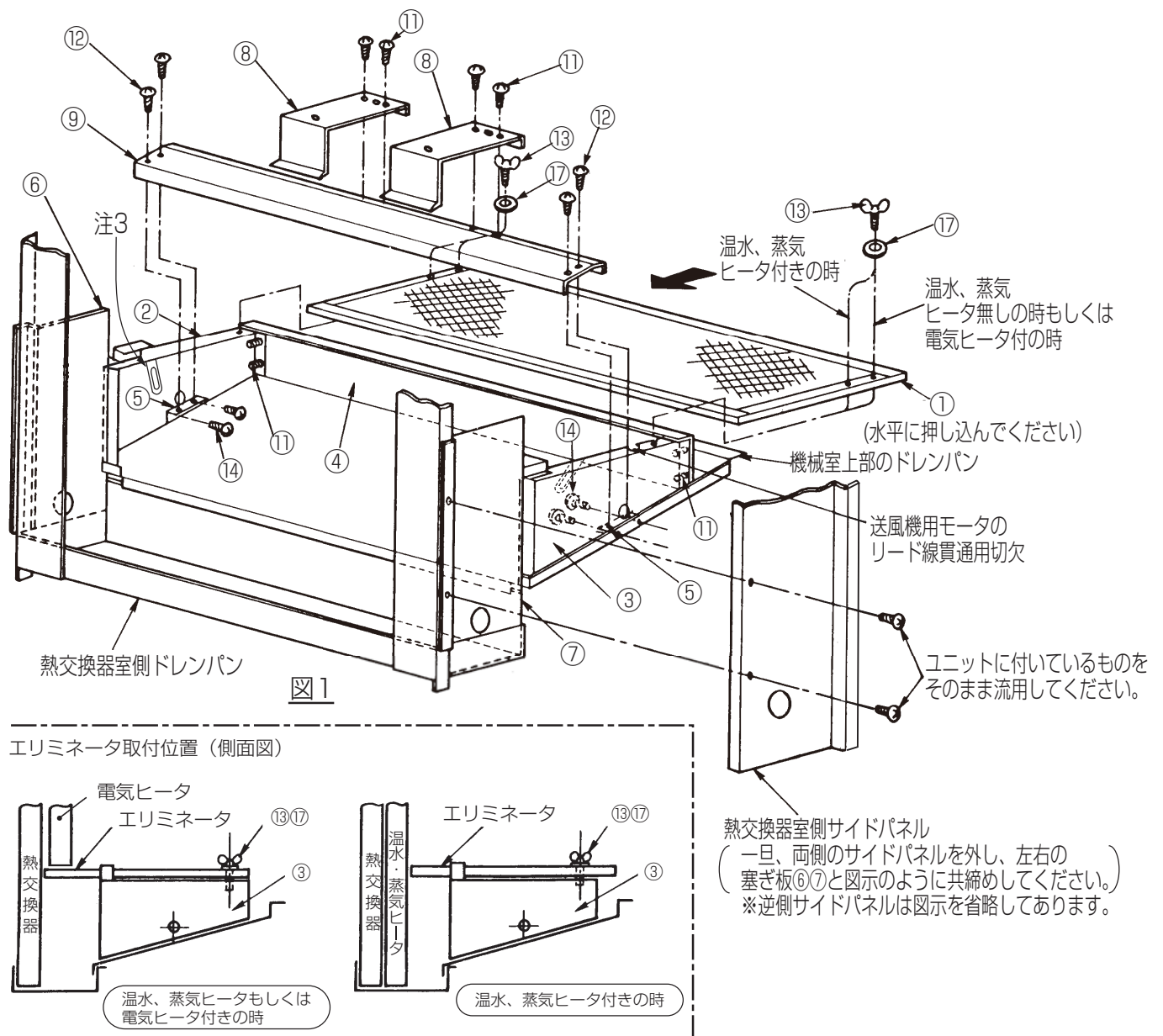
※ 本付属品の外に、ふさぎ板セット品があります。  
ふさぎ板の取付けは、セット内の説明書にてご対応ください。

※製品本体は必ず電源を切り、安全のため軍手等保護具を着用の上、実施してください。

## 2. エリミネータ及び付属品取付要領

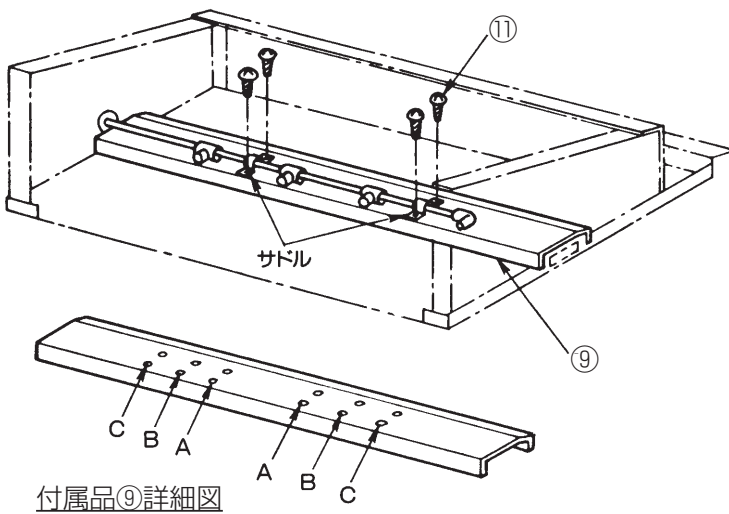
(本図は、PAC-CM37ENを示します。PAC-CM36ENには、取付板⑧は付属していません。)

- 注1. ご使用になる加湿器の種類により、取付ける付属品の種類は異なります。(詳細は次項以降を参照ください。)
2. 添付の付属品は、必ず全て取付けてください。  
付け忘れると水漏れ等の原因となります。(取付板⑧は超音波加湿器組込みのみ取付)
3. シャヘイ板②、③を取付ける前にドレンパンに固定されているサーミスタ等のリード線を取外してください。  
リード線が蒸気スプレー等の高温になるところに触れないようにシャヘイ板についているクランプでリード線を固定してください。



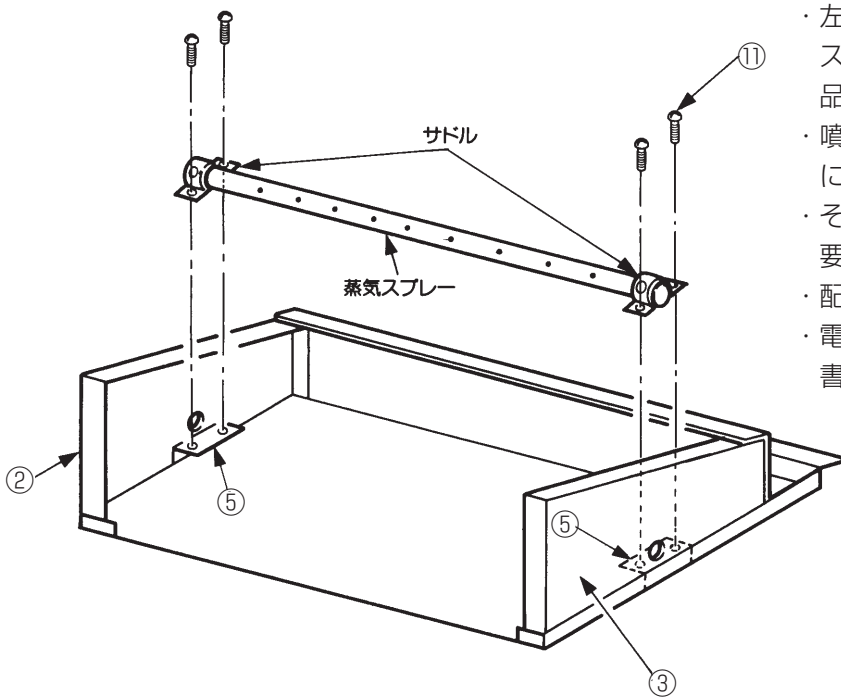
### 3. 各種加湿器取付要領

#### 3-1) 水スプレー (別売形名 PAC-CL25WS)



- ・左図に示すように、付属品⑨にスプレーセットを、サドル (水スプレーセットの付属品) とネジ⑩にて取付けます。
- ・その他の付属品の取付けは、図1に示す取付要領と同じです。
- ・スプレーのノズルは、その噴霧方向が必ず熱交換器に向かって水平となるように、またユニットのほぼ中央に位置するように調節してください。
- ・サドルの固定位置は、ノズル3つの時はAの穴、ノズル4つの時はBの穴、ノズル5つの時はCの穴を利用してください。(付属品⑨詳細図参照)
- ・配管方向は右配管、左配管いずれも可能です。
- ・電気配線は、水スプレーに付属の取付説明書に従い配線工事をしてください。

#### 3-2) 蒸気スプレー (別売形名 PAC-CL35SS)

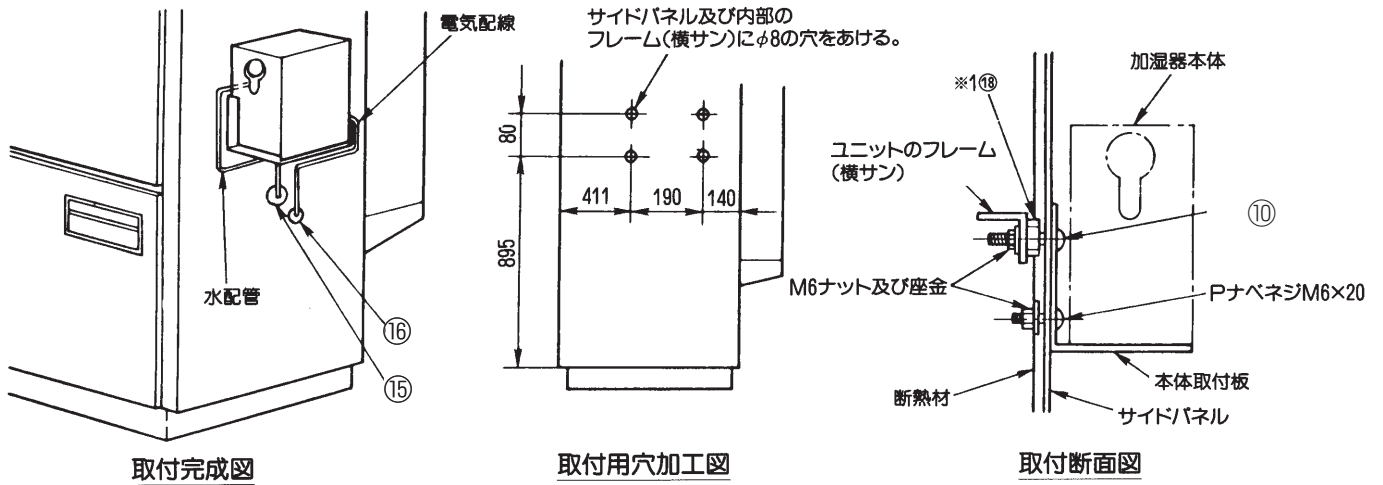


- ・左図に示すように、スプレーをサドル (蒸気スプレーセットの付属品) とネジ⑩にて付属品②、③へ固定してください。
- ・噴霧方向は、水スプレーと同じく、熱交換器に向かって吹き出すようにしてください。
- ・その他の付属品の取付けは、図1に示す取付要領と同じです。
- ・配管方向は右配管、左配管いずれも可能です。
- ・電気配線は、蒸気スプレーに付属の取付説明書に従い配線工事をしてください。

### 3-3) 高圧スプレー（ウエットマスター製 WM-25～75SVN、SVK）

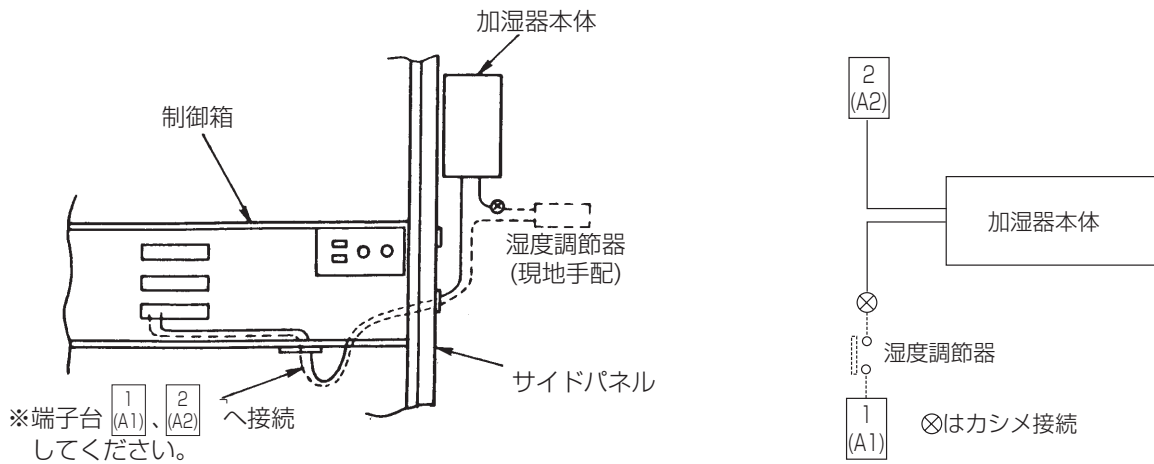
注. 受注対応でのみ取付可能です。

i) 加湿器本体取付要領（※スプレーノズル部は、3-1）「水スプレー」と同様に取付けてください。）



- ・配管方向（本体取付方向）は左、右いずれにも可能です。本図は、右配管時を示しますが左配管時はこれと左右対称になるように取付けてください。
- ・加湿器本体の取付けは、スプレーノズル及びエリミネータ関連部品を取付ける前に行ってください。
- ・「取付断面図」の※1スペースがないとパネルがへこみます。必ず、フレームとパネルの間に挿入しておいてください。

ii) 電気配線要領

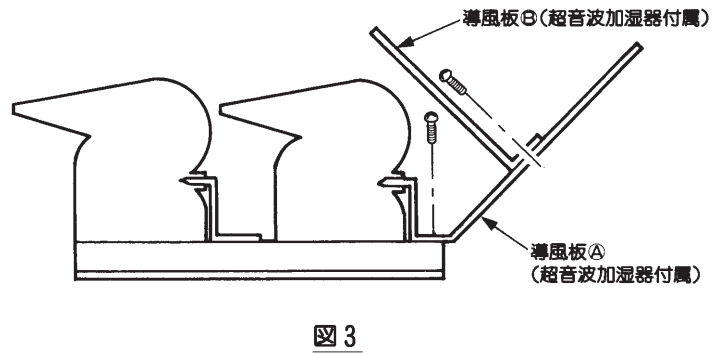
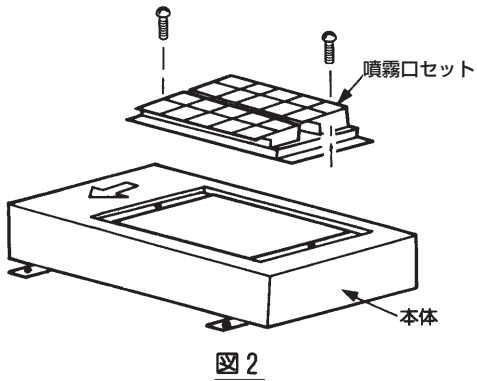




### 3-4) 超音波加湿器（ユーキャン製 FT-P240/300）

注. PA(H)・PW(H)・PAT・PWT形に対応可能となります。

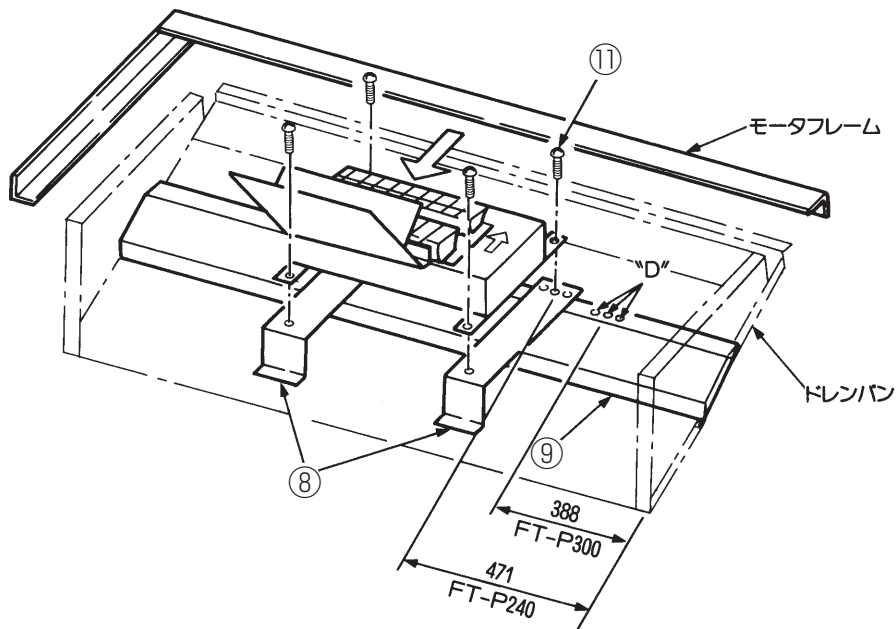
i) 加湿器本体取付要領(取付けは下記の要領で行ってください。)



- ・ 超音波加湿器を本体に取付ける前に、まず加湿器本体から噴霧口セットを取外してください。(図2)
- ・ 取外した噴霧口セットに導風板 ④ を取付け、その後導風板 ⑤ を取付けてください。(図3)
- ・ ユニットに組込む際はドレンパン上に固定した付属品⑧、⑨にて本体を先に取り付け、その後導風板を追加した噴霧口セットを元通りに取付けてください。

下図はFT-P240の取付けを示します。

FT-P300の取付け時は外側の穴(左右)“D”に付属品⑧を取付け加湿器本体を取付けてください。



ii) トランス箱取付要領

- ・トランス箱は、左右どちらでも取付可能です。
- ・図4は、左取付時を示していますが、右取付時は左と左右対称になるよう取付けてください。
- ・トランス箱取付要領は、上部2ヶ所は表面の高圧スプレーと同様、サイドパネルとフレーム(横サン)へ取付けてください。サイドパネル間にスペーサ(M16ナット)を忘れないように注意願います。
- ・下部3ヶ所は、超音波加湿器付属の(5×10)タッピンネジにて取付けてください。

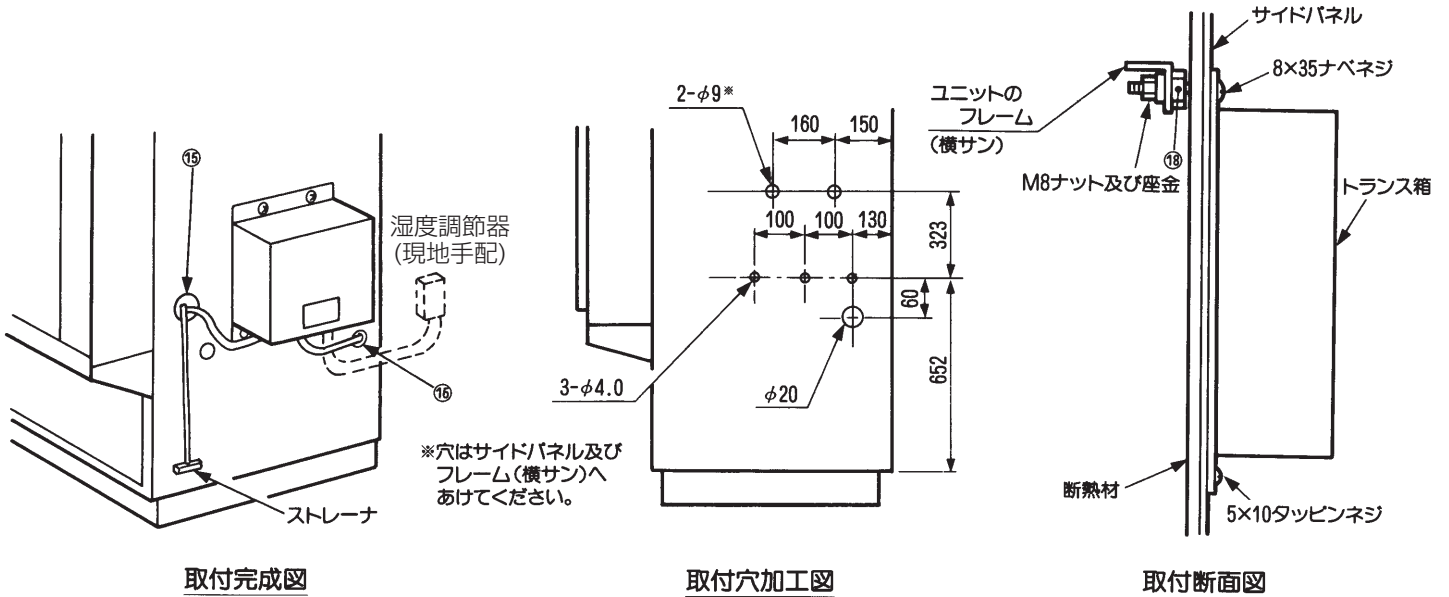
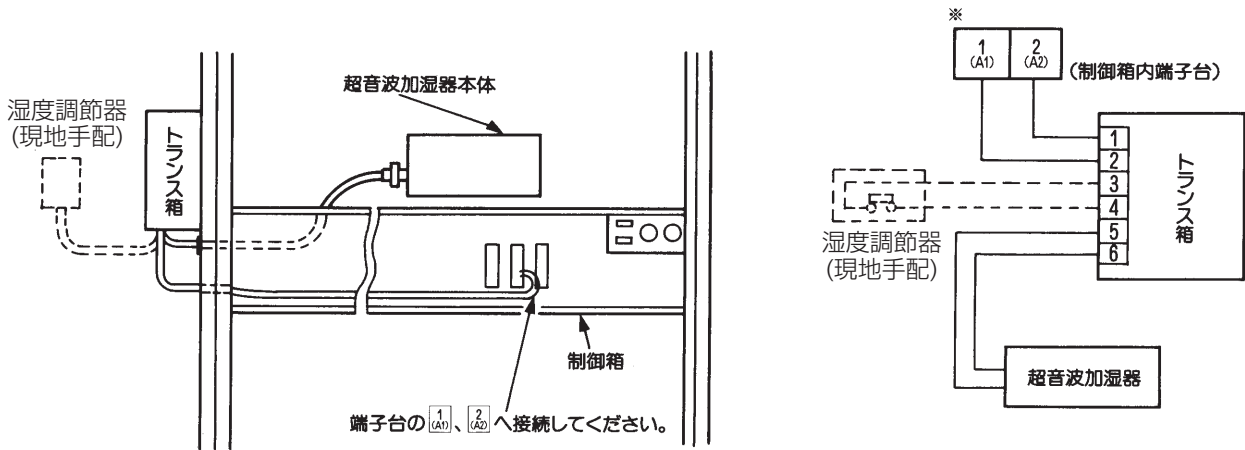


図 4

iii) 電気配線要領



## 4. エリミネータの清掃・交換

エリミネータが目詰まりしないように暖房シーズン前に清掃を行ってください。

加湿器の供給水の水質によっては、シーズン中でもエリミネータが目詰まりする恐れがありますので清掃頻度を増やすようにしてください。

エリミネータに著しい汚れや目詰まりがある状態で使用されますと、エリミネータを通過する風速が局所的に速くなり、送風機室内の部品に露飛びし、錆びやユニット本体の隙間から機外への水漏れに至る恐れがあります。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

## 三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

## 三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)  
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT03845X03